

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	トイ口神木本町		
○保護者評価実施期間	令和7年12月1日	～	令和8年1月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11 (回答者数)	6
○従業者評価実施期間	令和7年12月1日	～	令和8年1月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間で支援内容に関する情報共有がしっかりと行われている。	朝礼と終礼の時間をしっかりと確保できるよう、あまり送迎範囲を広げないようにしている。朝礼と終礼の記録を残して非常勤の職員も確認できるようにしている。	利用者の受け入れは職員体制を勘案して無理のない範囲で受け入れを行い、支援内容の低下が起こらないよう留意したい。
2	保護者参画型のイベントを定期的を実施している。	保護者参加型のイベントを定期的に企画し、事業所での取り組みや狙いなどを知っていただく機会としている。	今後も継続して保護者イベントを実施していきたい。
3	職員がほぼ毎月何らかの研修に参加し、自己研鑽を怠らない。	法人として多くの研修の機会を設けており、それに加えて外部の研修にも参加している。	職員同士研修内容の共有などをしながら自己研鑽の姿勢を続けていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動支援やきょうだい向けのイベント開催ができていない。	保護者同士で交流できる機会は作っていたが、父母の会の支援はしていなかった。また、きょうだい向けのイベントも実施したことがない。	父母の会は機会があればお手伝いできればと思う。兄弟向けのイベントに関しては実施できるか検討したい。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 トイロ神木本町

公表日 2026年3月10日

利用児童数 11

回収数 6

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6				十分に確保されていると思います。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	5	1			人員確保を頑張っていたと思っています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	6					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6				個々に合わせて支援していただいています。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	6					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	6				面談で支援内容を決め、まとめてくださっています。	
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6				いつも楽しいプログラムをありがとうございます。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	1	1	2	他の子どもとの活動はないと思います。	今後外出イベントなどで地域の子とも達と関わることでできる機会を作りたいと思います。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5			1	懇談会が実施されました。	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	6				送迎時連絡しています。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6				面談において支援していただいています。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6				子どもの良いところを報告していただき、伸ばしてもらっています。	
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5				懇談会を行なっていただいています。		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6				相談した際、電話対応をしていただいたり、即対応していただいています。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6				アプリや送迎時に報告してもらっています。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5			1	アプリやブログを拝見しています。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4	1		1		各マニュアルが策定されていることを改めて周知いたします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6				避難訓練を実施していただいています。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5			1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	6				大好きな場所です。子どもの気持ちを理解して接していただき、子どもも安心感を持って通っています。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	6				自らバッグを持ち笑顔で通所している。トイレに行く日をとても楽しみにしています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	6				個々に合わせて支援をしていただき感謝しております。	

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		トイロ神木本町				公表日	2026年3月10日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3		運動が不都合無くできるように室内のものをコンパクトにしている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3		視覚表示を用いて玩具を自身でも片付けやすいようにしている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3		毎日、チェックリストを基に環境整備をしている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3		行っている。必要に応じてパーティションも用意している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3		朝礼、終礼でPDCAを行なっている。事例検討も行なっている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	1	今年度開所したため、今後行なっていく。	従業者向け評価表を配布した後に保護者向け評価表を配布したため、保護者向け評価表の存在を周知できていなかった。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		朝礼、終礼等で意見や情報等を伝達している。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		3		今後第三者評価の実施を検討したい。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3		ほぼ毎月研修に参加している。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3		児発管を中心に行い、職員間で相談して計画作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		児童の視点にも立ち、計画を作成している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		面談の内容や計画を共有し、アプローチ手法は日々見直している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3		気になった様子等を共有し、記録に残している。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3		行なっている。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3		児童の反応が良かった内容はリピートすることもある。季節のイベントも取り入れている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3		朝礼にて必ず確認している。前回の様子で気になったことも共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3		終礼や翌日に振り返りをし、気になる点は支援の見直しをしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3		常に行なっている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3		目標の確認とともに必要であれば見直しをしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	3			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3		発語のない児童は絵カード等も用いて選択できるようにしている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		参画している。事前に職員間でも児童の状況を改めて確認している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3		事前に挨拶をし、職員名簿の共有をしている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3		今後必要であれば積極的に進んでいく。	必要に応じて随時実施していく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3		まだ学校を卒業した子がいない。しばらく該当児童はいないが、時期が来たら積極的に行う。	当面は該当者がいないが、必要に応じて随時実施していく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	2	地域との連携は今後行なっていきたい。	地域連携は今後積極的に図っていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		3	地域の行事に参加できると良い。	地域の行事や外出イベント等で交流の機会を作っていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		3		これまでは参加したことがないが、機会があれば傍聴してみたい。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3		帰りの送迎時に様子を伝えている。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		3	保護者が望む内容等をリサーチし、今後行えるといい。	今後検討したい。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3			親子イベントを行い、交流の場を設けている。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			鍵付きの書庫にて書類は保管。写真の取り扱い等も留意している。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	1		ハロウィンの際に交流をしていた。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3			マニュアルは事業所に起き、いつでも閲覧できる状態にしている。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3			記録を残し、必ず共有している。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3			定期的に研修を行っている。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3			定期的に研修を行っている。理解したうえで保護者に説明と同意を得ている。	